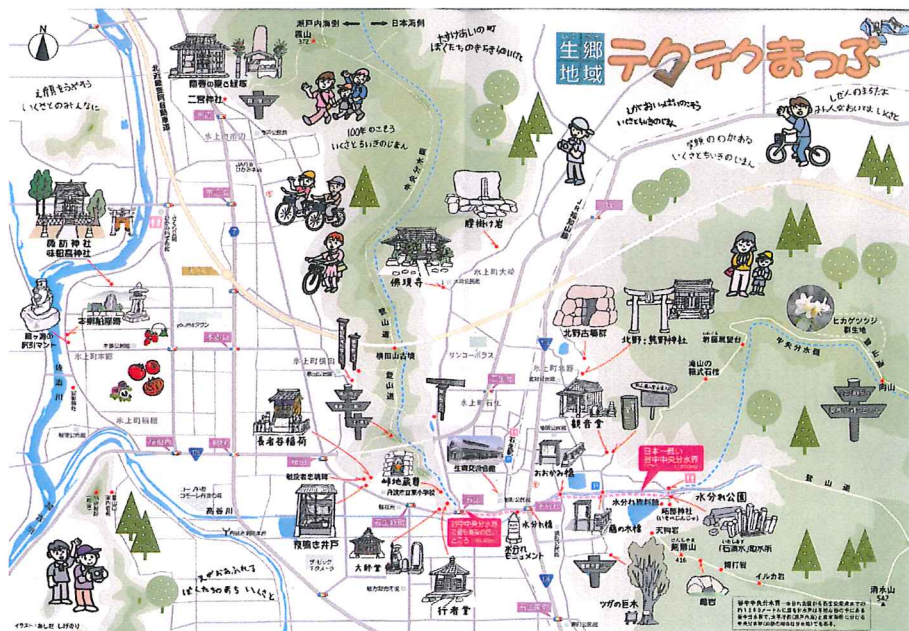


いくさと 生郷(ふるさと)計画

～みんなで創ろう！よりよい生郷(ふるさと)をめざして～



平成 28 年 4 月

生郷自治振興会

(生郷まちづくりビジョン計画策定委員会)

目 次

1 はじめに	．．．．． P2
① 計画策定の経過	
② 計画の構成と進め方	
③ 計画の期間	
2 現状と課題	．．．．． P3～6
① 人口の動態	
② 現状（取り組んだ事業）	
ア）地域再発見と住民交流	
イ）環境整備	
ウ）防犯・防災活動	
エ）拠点利活用	
オ）教育	
カ）福祉・健康	
キ）情報活動	
③ 地区の課題	
3 地区の将来像と基本方針	．．．．． P8
① 将来像と基本方針	
4 基本方針に基づく実施事業	．．．．． P9～10
① 事業計画概略	
5 資料編	．．．．． P11
① 地域づくり計画の策定経過	
② 策定委員名簿	

1 はじめに

① 計画策定の経過

平成 19 年度から小学校区単位で取り組まれている地域づくり事業において、各校区単位で平成 23 年度計画策定が行われました。

この地域づくり計画は、住民の手による小学校区の総合計画であり、ここ生郷地区においても、自治振興会組織の中に「元気な地域づくり実行委員会」を設け、いろいろな事業への取り組みを進めながら5年が経過しました。

今後5年から 10 年先を見込んだ計画の見直し時期となり、新たに生郷地域づくりビジョン計画策定委員会を設け、以下の協議が進められました。

② 計画の構成と進め方

本計画は、設定した将来像達成に向けて、基本方針の考え方を実施する各種事業に盛り込みながら実行していきます。

計画期間は、概ね 10 年(平成 28 年度～37 年度)とし、状況の変化も勘案し、3 年程度の中期実施計画で構成します。

各中期実施計画開始年度の当初に、各事業とその予算を明確にし、住民周知を図ります。

なお、平成 28 年度については、組織体制の見直しを進める関係上、原則既存事業の実行をし、中期実施計画の本格実施は、平成 29 年度からとします。

計画と組織体制の見直しは、原則各中期計画終了時行うこととしますが、単年度の事業展開の検証を基に必要に応じ随時行います。

また、事業評価については、公募制などによる評価委員会の設置や住民アンケートの活用など検討し進めていきます。

③ 計画の期間

本計画は、生郷地区の将来像の実現に向けて、平成 28 年度から概ね 10 年後の生郷の姿を展望することとします。ただし、生郷自治振興会が必要と認めたときは、実情に応じて、随時見直しを行うこととします。

H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
基本計画 10 年									
前期計画 3 年				中期計画 3 年			後期計画 3 年		
実施計画									
				実施計画					
							実施計画		

2 現状と課題

①人口の動態

生郷地区の人口は、合併以来他地区からの転入等により、市内でも数少ない人口が増えている地区となっています。

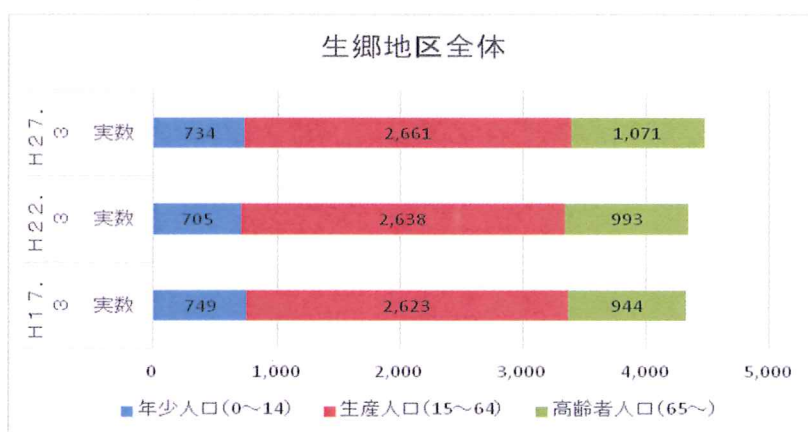
また、年少人口比率は、丹波市全体より高く、一方、高齢人口比率は、丹波市全体より低い地区の一つとなっています。

しかし、人口減少や少子高齢化により、高齢化率では 24.6%（丹波市 30% 越え）と高くなりつつあります。

表 生郷地区における人口動態の推移

項 目	平成 23 年 3 月	平成 27 年 3 月
人 口	4,379 人 (69,333)	4,466 人 (69,333)
年少人口比率 (14 歳以下)	16.7% (13.6)	16.7% (13.6)
高齢人口比率 (65 歳以上)	22.4% (27.7)	24.6% (27.7)

() 内の数値は丹波市全体



②現状（取り組んだ事業）

ア) 地域再発見と住民交流



生郷地域テクテクまっぷを作成

平成26年



生郷(ふるさと)散策

平成26年10月



水分れ橋看板の設置(氷上回廊)



水分れ公園（石清水）取水所整備

イ) 環境整備



地元企業合同清掃活動
水分れ公園にて



花いっぱい運動

ウ) 防犯・防災活動



防犯カメラの設置
JR 石生駅西口 駅前広場
平成27年10月

エ) 拠点利活用



交流活動の拠点 生郷交流会館
平成23年4月

●生郷交流会館利用状況

(人)

年 度	男	女	合 計	備 考
平成23年度	2,007	1,779	4,786	会館竣工 H23.4.29
平成24年度	3,844	3,442	7,286	1万人達成 H24.12.10
平成25年度	2,849	3,154	6,003	
平成26年度	3,642	3,661	7,303	2万人達成 H26.6.25
平成27年度	3,098	2,910	6,008	3万人達成 H28.1.28
合 計	16,076	14,579	31,386	

●定期利用サークル

曜日 室	月	火	水	木	金	土
集の交流室	オカリナ		太極拳	3B 体操		土曜チャレ ンジ学習
習の交流室	朗読の会	陶芸教室	ハンドベル	短歌の会		ちぎり絵
和の交流室					百人一首	百人一首

*集・習・和・の各交流室は、夜間、各種団体等の会議にも使用

オ) 教育



土曜チャレンジ学習
(田んぼの学校)
ジャガイモの収穫



通学合宿



生郷水分まつり
水分れ公園屋外ステージ



ポップアップホール
生郷(ふるさと)音楽祭

カ) 福祉・健康



介護教室 生郷交流会館
車いす操作方法のアドバイス



福祉のまちづくり
生郷交流会館のつどい

キ) 情報活動



広報『生郷』年間3回発行

③ 地区の課題

前述生郷地区の現状を踏まえ、計画策定委員から多くの意見が出されました。

それら意見を集約すると、交通の要衝であり物理的利便性の向上や新興住宅の増加による人口増などを課題要因とした4つの課題が見えてきました。

● 住民の手による安心安全な生活環境の再構築

交通・日常生活・就労等の利便性は、単純に住み良い環境には結びつきません。市街化に伴う生活環境の変化について、ゴミのポイ捨てや軽犯罪の抑止、防災・減災についての意識啓発など、誰もが安心安全な生活空間づくりに関わりを持つことが大切です。

● 人と人のつながりの大切さ

職場や趣味など属性の優先、核家族化などによる生活スタイルの変化に伴い、地域のつながりに無関心な傾向があります。現状にマッチした手法で、人と人のつながりの大切さを確かめ合える活動やそのための人づくりが必要です。

● 双方向を念頭に置いた情報提供の大切さ

人のつながりや地域への関心を高める啓発活動や事業活動は、情報を送る側、受ける側の双方向のやり取りが、密になればなるほど有効で効果があります。そのために、情報発信や受信の手段・手法を見直すことが大切です。

● これらの課題を解決するための組織体制の再構築

上記の課題解決を進めようとしたとき、事業の企画や運営のなかで、より多くの住民が関わり、人づくりにもつながる組織体制が大切です。住民の理解や協力が得られやすいような組織体制について、絶えず検討する必要があります。

3 地区の将来像と基本方針

① 将来像と基本方針

現状と課題から、平成 23 年度策定の将来像、基本方針は、簡単に達成できるものではなく、引き続き将来像、基本方針として掲げ、今までの取り組みで新たに表面化した課題について、その解決策を地域づくり事業として、基本方針に沿って展開していくことにしました。

将来像： みんなで創ろう！よいよい生郷(ふるさと)をめざして

～こどもたちが20年、30年先、住みたいと思う元気なまちをめざす～

基本方針： ① 地域が活力あるものにする人材育成、やる気ある人に

地域にある資源や人材を発掘し、互いに助け合う共助の精神の元で、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを応援します。

② 新しい取り組みで、地域の楽しみを作ること

生郷(ふるさと)にある地域資源をもう一度見つめなおし、新しい楽しみを生み出す取り組みを支援します。

③ 地域を元気にするには、継続的な活動ができること

この生郷(ふるさと)で育ったことを誇りに思い、心の中に、ふるさと「いくさと」を いつまでも持ち続けられる活動を展開します。

私たち生郷地区住民は、平成 23 年の計画策定当時を振り返り、以下のことについて再確認と共有が必要です。

私達が願う将来の生郷はどうあるべきか。地域づくりを進めるために、まず「どんな風になりたい」というような夢を住民の皆さんが、共有しなければなりません。

行政や自治振興会が何をしてくれるかでなく、私たち一人ひとりが地域のために何ができるかを考え、みんなが参画すること、行動することが大切です。

4 基本方針に基づく実施事業

①事業計画概略

課 題 の 集 約	活 動 の テ ー マ	事 業 概 要
● 安心・安全な地域をつくるため、住「環境」の整備と地域防犯防災活動を推進する。	小学校区の基盤は、自治会や各種団体です。 自治会が元気な校区は、校区全体が元気になるります。 生郷自治振興会では、自治会や各種団体が元気に継続的な活動を進められるような支援や、単位自治会では取り組みにくい活動を進めます。	防災訓練
		ゴミ対策
		桜の管理
		軽犯罪防止
● 生郷交流会館を拠点に、地域の「人」が集まり、積極的な交流活動を推進する。	住民同士が出会い、共に活動する機会を創造します。 加えて、生郷交流施設は、会議や行事だけに利用する施設ではなく、気軽に立ち寄れる住民の居場所であればその存在価値は半減してしまいます。	交流会館の拠点化
		異世代交流活動の促進
		ふれあい交流メニューの開発
● 「情報」を日頃から提供し、自らの手で活力あるまちづくりを推進する。	生郷地区の活動内容を住民の皆さんに広く、深く理解していただけるように広報の充実を図り、同時に住民⇄自治振興会双方向の情報のやり取りを進め、皆さんの意見や思いを、活動に反映していきます。	情報発信の手段・広報紙(内容・回数)の見直し
		情報の双方発信
● 新しく生郷自治振興会の機構を見直し、「運営組織」体制を整備する。	上記それぞれの課題に取り組むために、現行組織の見直しを進め、持続性があり、より効果的で、一般住民も参加できるような体制づくりを図ります。	組織体制検討委員会の開設
		住民が企画運営に関わりやすいシステムづくり

※本計画は、生郷地区の将来にわたり、実情に応じて随時計画の見直しを行います。

これまで実施した事業課題を検証し、将来に向けた事業を検討しました。

これまで実施した事業から見える課題と方針から考えられる事業（既存事業含む）

課題の集約	課題の整理・優先順位	地域が活力あるものにする人材育成、やる気のある人に	新しい取り組みで、地域の楽しみを創ることができる	地域を元気にするには継続的な活動ができること	将来像へ向けての事業展開			将来像
					前期	中期	後期	
環境	①防災訓練の呼びかけ ②こみ対策 ③犯罪の防止 ④校の管理	(考え方) ①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①企画期間(1年) ②自治会への啓発期間(3年) ③自治会への啓発期間(3年) ④自治会への啓発期間(3年) ⑤自治会への啓発期間(3年) ⑥自治会への啓発期間(3年) ⑦自治会への啓発期間(3年) ⑧自治会への啓発期間(3年) ⑨自治会への啓発期間(3年) ⑩自治会への啓発期間(3年) ⑪自治会への啓発期間(3年) ⑫自治会への啓発期間(3年) ⑬自治会への啓発期間(3年) ⑭自治会への啓発期間(3年) ⑮自治会への啓発期間(3年) ⑯自治会への啓発期間(3年) ⑰自治会への啓発期間(3年) ⑱自治会への啓発期間(3年) ⑲自治会への啓発期間(3年) ⑳自治会への啓発期間(3年) ㉑自治会への啓発期間(3年) ㉒自治会への啓発期間(3年) ㉓自治会への啓発期間(3年) ㉔自治会への啓発期間(3年) ㉕自治会への啓発期間(3年) ㉖自治会への啓発期間(3年) ㉗自治会への啓発期間(3年) ㉘自治会への啓発期間(3年) ㉙自治会への啓発期間(3年) ㉚自治会への啓発期間(3年) ㉛自治会への啓発期間(3年) ㉜自治会への啓発期間(3年) ㉝自治会への啓発期間(3年) ㉞自治会への啓発期間(3年) ㉟自治会への啓発期間(3年) ㊱自治会への啓発期間(3年) ㊲自治会への啓発期間(3年) ㊳自治会への啓発期間(3年) ㊴自治会への啓発期間(3年) ㊵自治会への啓発期間(3年) ㊶自治会への啓発期間(3年) ㊷自治会への啓発期間(3年) ㊸自治会への啓発期間(3年) ㊹自治会への啓発期間(3年) ㊺自治会への啓発期間(3年) ㊻自治会への啓発期間(3年) ㊼自治会への啓発期間(3年) ㊽自治会への啓発期間(3年) ㊾自治会への啓発期間(3年) ㊿自治会への啓発期間(3年)	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供
人	①つながりがうすい ②同じメンバーで集まらない ③関心 ④意見が言える環境を	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供
情報	①住民への周知・情報を多くの 人に知らせる ②住民の交流を深めるための情 報提供 ③情報発信の手段、回数を増や す ④情報の双方向発信	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供
組織体制	平成28年度は現状の運営体制で各事業を進める	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	(考え方) ①防災訓練の参加 ②防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供	①防災訓練の呼びかけ ②防災訓練のメニュー(計画・準備) ③防災訓練の準備を企画運営するノウハウなどを企画作成し自治会へ提供

5 資料編

① 地域づくり計画の策定経過

開催日	委員会等	内 容
平成 27 年 11 月 27 日	第 1 回委員会	役員選出と委員会スケジュール提案等
平成 27 年 12 月 9 日	第 2 回委員会	前計画見直しについての協議
平成 27 年 12 月 22 日	第 3 回委員会	既存事業について意見交換
平成 28 年 1 月 13 日	第 4 回委員会	これまで実施した事業課題を協議
平成 28 年 1 月 29 日	第 5 回委員会	既存事業の課題のテーマを定め協議
平成 28 年 2 月 10 日	第 6 回委員会	課題を集約し進めるべき事業を協議
平成 28 年 2 月 26 日	第 7 回委員会	進めるべき事業と実施予定時期を協議
平成 28 年 3 月 10 日	第 8 回委員会	計画内容及び今後の事業展開について
平成 28 年 3 月 28 日	第 9 回委員会	計画書（案）作成の検討

② 策定委員名簿

氏 名	役 職
里 尚	生郷自治振興会 会長
足 立 鉄 男	生郷自治振興会 副会長
足 立 英 紀	生郷自治振興会 地域振興委員会 委員長
吉 竹 嘉 博	生郷自治振興会 産業振興委員会 委員長
竹 内 吉 信	生郷自治振興会 教育振興委員会 委員長
大 西 洋 史	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 委員長
田 中 信 悟	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 副委員長
足 立 広 幸	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 会計
大 木 登 志	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 庶務
真 鍋 宏 行	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 生郷再発見部会長
寺 田 義 彦	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 応援隊部会長
足 立 秀 幸	生郷自治振興会 地域づくり実行委員会 地域資源活用部会長
森 田 多恵子	生郷自治振興会 会計
荻 野 恭 敏	生郷自治振興会 地域コミュニティ活動推進員

■市職員支援者

氏 名	役 職	選 出 団 体
山 崎 和 也	市職員支援者	市職員
荻 野 雅 文	市職員支援者	市職員
池 上 香 織	市職員支援者	市職員

発行 生郷まちづくりビジョン計画策定委員会

〒669-3464

丹波市氷上町石生 700-1（生郷交流会館内）

Tel/fax : 0795-82-2666

e-mail : ikusato.js@zeus.eonet.ne.jp